

令和3年度 緑区地域活性化支援事業 交付団体一覧

I 地域づくり活動支援コース

No	団体名	代表者	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する結果・成果	交付決定額(円)	審査委員コメント
1	大木戸台シニア支援の会	木村 修二	見守り・助け合い事業	・買い物困難な人々に対する支援 ・日常で困っている人々に対する支援 ・高齢化による閉じこもりや孤立をなくす ・人がお互い様の気持ちで助け合い、気軽にコミュニケーションが出来る町づくり	・買い物支援 ・庭木の刈込・草取り、納戸の清掃、髪の手入れ等 ・高齢者、独居者、障害者に対しての見守り・支援活動 ・拠点「虹の家」で気軽に住民が集まりコミュニケーションを取る機会への取組 ・友の会や子供会との協力によるイベントの実施 ・チラシや「虹の家通信」により、ボランティア活動への理解と募集及び情報の提供。	大木戸台団地全域	・安全で安心して住み続けられる町 ・住民が自発的にボランティア活動に参加し、何らかの形で支援の輪につながる事 ・お互い様の気持ちが高まり、住民のふれあいがある町 ・清潔で美しい町、そして地域の活性化につながっていききたい。	200,000	地域のニーズに沿った内容で、「コロナ禍」でも工夫して支援の活動を継続していることを評価します。住民同士のふれあいを通じて、地域コミュニティの絆が一段落としていくことを期待します。地域で活動する他の団体と交流を深めることにより、活動の担い手を一層広げていっていただき、今後少しづつでもメンバーの若返りを図るとともに、補助期間終了後の活動計画を検討してください。
2	きりん文庫	米元 初美	きりん文庫(自宅ミニ図書館)	・身近な所に読書環境を求める人々により場所と情報の提供をしたいと考える。また同時に学校や家庭と違う場所として利用してもらえればと考えている。 ・更に地域のおきな活動を行っている仲間とのネットワークで緑区の多くの子ども達への読書推進活動も広げていきたい。	【自宅ミニ図書館】 自宅の一室を開放し、読書したり他者とのコミュニケーションをとる場として提供。絵本の読み聞かせ、本の紹介、貸出しを実施。子どもたちの自由な遊び場としても活用(お茶のた、折り紙、すくく、パズルなど)わらべ歌などを親子へ紹介、実施。 【地域のおきな活動の共有】 情報交換、研修会などや、小学校へのおきななど活動のボランティア活動【読書後ハイサービスタイム】での読書活動の推進	代表者の自宅(菅田町2丁目)	【緑区の読書環境の向上】 子どもや老人まで読本や読み物などを通じて豊かな心を持つことができるように地域の仲間たちと連携しながら活動【地域の人の居場所としての文庫の継続】 長期の出会いがあるなどコミュニティ空間としての役割	150,000	地域の子どもや子育て世代の親の居場所づくりに取り組み、本を通じた交流の場を継続的に提供できている点を評価します。活動の継続の取組や読書回数の増加に伴って活動の場を拡大し、地域の認知度を高め、より多くの人が利用出来るようになることを期待します。購入した図書書の管理(貸出簿)等により適正な管理をお願いします。
3	花みずきいきいきサロン	柳澤 正三	花みずきいきいきサロン	・指間して8年経過し、一人暮らしや高齢夫婦のみの世帯が多くなっている。超高齢化社会の2025年問題に於ける地域課題に取り組む為に花みずきいきいきサロン事業を立ち上げ、運営しています。 ・自治会の皆様、住み慣れた地域で、健康向上・介護予防・認知症予防の取組と、シニア世代の嗜好の多様性に対応する居場所づくりと、行政、地元医療機関との連携を構築することによる活動の拡大を図りたい。更に地域のボランティア団体との連携・共同を深め、介護予防、フレイル対策の必要性、地域の相互支援活動の必要性等への活動を通して幅広く普及して行く	毎回の読み聞かせ及び保護者への啓発 お好みずみずき・かつら前の中心に、無理なく多くに行ける。誰も気軽に参加できる、居場所作りによる自治会集会所があるので活用させていただきます。「花みずきいきいきサロン」を毎週水曜日定期開催、みずき・かつら前の地域活性化活動を展開する。 ・10～11時 健康講座、ラジオ体操、口体操、みんなの体操、シニアサークルの発表、いきいき体操、コアトレーニング、脳トレーニング等 ・11～12時 昼食・1グループの場、健康歌会・ポップミュージック、雑談、小物作り、落花生、木の葉作り・音楽愛好家による演奏会 ・歌合等 ・緑の健康講座に健康診断・講演会などを2～4回実施して行く。 ・地域ボランティア団体との連携を拡大する。 ・担当スタッフのスキルアップを図る。楽しく長期にボランティア活動に関わってもらうための取組を行う。	みずき・かつら前街集会所	地域包括ケアシステムの必要性を主にシニア層、地域団体に広げたいことを期待したい。運営ボランティアの増員、ボランティア自身の活動にわたるモチベーション向上に寄与したい。 ・私達は良好な施設(自治会の集会所)があるので地域づくりの活動中心としてより有効に活用して行く。 ・地域の繋がりが拡大、活性化して、明るく・安心・安全な住みやすい地域を目指す。	175,000	高齢者も徒歩で通える利便性の高い居場所で、継続して健康増進活動に取り組んでいること、ボランティアによる新たな活動となっていること、ボランティアによる新たな活動手法を継続的に提供できている点を評価します。Winコロナの暮らしの中で、楽しんで活動できる企画を増やしていき、「介護予防」の視点から大事に活動とつながり、地域での繋がりを深めたいことを期待します。また活動の継続について検討していただき、補助期間終了後も適正な管理をお願いします。
4	まんぷく食堂	藤城 真奈美	子供食堂	日々増加している子供への虐待、食費をなくす手助けになればと思い活動しています。また日々頑張っている子育て世代のお父さんお母さん達の自由時間の提供も目的の一つです。 また様々な方々の来店により、交流の場となり、地域の活性化を図れたらと思います。	・月に1、2回、土曜日12時～15時(完全定食終了) ・緑取コミュニティセンターにて実施。 ・大人は350円を標準とする。 ・ボランティアによる工作教室も併せて行う。	緑取コミュニティセンター	・虐待のない地域、子どもが一人で食事をしなくてもいい地域、地域で子供支援を見守っていく事のできる環境作り	200,000	子供の居場所づくりや食費の防止など、子供食堂の活動を通して地域の中で子どもたちを見守り、子育てを支える活動であることを評価します。同様の取組を通して欲しいと思いませんか。地域で子供支援を見守っていく事のできる環境作り
5	がれつと工房	高橋 陽子	人形劇など上演活動	・地域の大人に人形劇などの活動を楽しんでもいい、文化的な交流をはかる。	・月二回、緑取コミュニティセンターで人形劇等上演のための準備をする。毎年、新たな劇に取り組み、話し合いや制作、練習を行う。 ・上演は年に5回程度、子どももや放課後ハイサービスタイムで行う。	区内を中心とした子どもホール、放課後教室、ハイサービスタイム等	・地域で文化的な活動が盛んになり、子どもたちの心が豊かになること。	50,000	人形劇や語りなどの文化活動とおして、子供から大人まで幅広い世代の住民に、地域交流の場を確保する取り組みを評価します。小規模な単位での公演や、Winコロナの生活の中でも、活動を継続でき工夫を期待します。主に子供を対象とした上演公演などと思われるが、老人福祉施設での上演など、対象範囲や上演場所の拡大を検討してください。
6	かかしアート実行委員会	大塚 栄一	かかしアートまつり	①菅田地域内の子供達を中心に「かかしアートまつり」を開催し、芸術文化の普及と親子・有吉・町内の皆さんとの交流の場とする。 ②地域内の各津水田の、草葎から稲穂の刈り取りの期間に開催の「かかし」の特徴と自然の背景が移り、散歩する方々に、話題と散歩活動の活性化を促進する。 ③コミュニティの機会を増やし、日常的な見守り活動などのボランティア活動の環境をつくる。	①「かかし」を親子で制作する(菅田小、菅田東小、菅田中東小、幼稚園、保育園)。 ②「かかし」を披露する(地域内の各津水田沿いの散歩コース)。 ③散歩コース内のかかしを芸術性を兼ねたものとし、歩きたいを促進する。 ④関係者に応援、協力の手助け、活動を通して、ボランティア活動の輪を広げる。 ⑤様々なセミナーや研修会に参加し、ボランティア活動の知識を高める。	菅田中学校区内	・芸術文化的感性の向上と自然の大切さを感じる機会になる。 ・親子と老人が、町の中を共に過ごし、日々支え合いの環境をつくる。 ・町の中で健全な話題づくり、散歩活動等の活性化と散歩コースの充実を図る。 ・地域の中で町民が一体となって進める活動等の関係。 ・町内自治会委員の脱退を防止する。楽しく感動のある街づくりを全員参加を目指す。	50,000	地域の自然資源を活かして、子どもたちが地域文化にふれる機会を提供している点を評価します。親子のコミュニケーションや世代間交流、地域への帰属意識の活性化と散歩コースの充実を図る。地域の中で町民が一体となって進める活動等の関係。町内自治会委員の脱退を防止する。楽しく感動のある街づくりを全員参加を目指す。
7	不妊ピアサポート Peerless	行木 佐衣子	不妊体験者の未来支援事業	・55組に1組が不妊治療を経験し、9組に1組が不妊に悩んだことがあると云われる昨今、その悩みは周囲に相談しにくいことから、つらい思いを抱えている人がたくさんいます。また、いざ相談しようとしても相談する場所がないのが現状で、市の不妊専門相談も月に1回の実施で3組しか対応がありません。 ・このケアとして、医師や保健師だけでなく(不妊の経験のあるピア)という立場からそのサポートを地域に広げていきたい。そしてその声はピアとして支援する体制によって人達をふやしていける。病院、行政との連絡を取りながら不妊の経験の拡充を行います。不妊治療のやめとき悩む人や治療を卒業した後の生き方のサポート、不妊が原因で離婚する夫婦の減少、里親制度、養子縁組制度の利用増加も目指します。	・不妊ピアオンライン個別相談会 ・妊活支援のための専門講師によるセミナー ・千葉市の妊活支援・不妊サポートの啓発イベント ・不妊ピアサポートの医療機関や行政機関との連携体制の構築 ・里親制度、養子縁組制度との連携体制の構築	千葉市緑保健福祉センター(ボランティア活動室・会議室)・緑取コミュニティセンター	・不妊が悩む人達の精神的なケアが身近になるとストレスを緩和し、妊娠できる可能性が高まることも考えられるため、妊活支援とあわせて少子化問題の改善も期待できると考えます。 ・不妊で夫婦関係や生き方に悩む人達が事業を通して自身の生き方を前向きに考えたり、夫婦関係の向上により離婚率が減り、子供がいなくても活き活きとしている人が区内に増えることを期待します。 ・里親や養子縁組制度についてことで社会的な責任が必要で子供の減少にないでほしい。	50,000	個別相談のニーズに対応するため、オンラインを使ったサポートに取り組んでいる点を評価します。オンライン、対面、それぞれの特徴を活かした活動の取組を期待します。補助期間終了後の活動継続のため、センターの共同開催など、他団体と連携・協力により一層活動の幅を広げる手法を検討してください。
8	大膳野町内会	中村 元一	美しく明るい町内	・地域の美化及びポイ捨て防止のため。 子供達の通学路であり、歩道が狭いので花いっぱいに出たいのも明るい町内を、住民相互の理解を深め参加者を増やします。	・主幹道路の美化。 ・花植え、花壇の手入れ活動。 ・新規に2箇所管理	大膳野町自治会館及び自治会館付近	・住民相互の理解を図る。 ・地域の防犯及び不法投棄が少ななり、環境の美化に繋がっております。	50,000	町内自治会を中心に、住民自身が美化活動を行うことにより、地域交流の場をつくり、住民の一体感を生み出している点を評価します。この活動が周辺の自治会に広がっていき、地域コミュニティの推進につながることを期待します。親子での参加者をはじめ、多くの方が参加できるような活動を検討してください。
9	NPO法人ウィメンズ・ウィングスちば	宮田 喜美江	女性のためのおしゃべりカフェ	女性は様々な人間関係において、しばしば調整役となり自分の思いや悩みを押し込めてしまいがちです。コロナの中で、Stay homeを叫ばれ、ストレスのある暮らしが続く中、ほんの一時でも、日々の思いや悩みを気軽に話す場所があること女性が、気軽に話ができる場所を地域で作りたい。	NPO法人ウィメンズ・ウィングスちばの事務所において第2金曜日の14:00～15:30 ・女性のためのおしゃべりカフェ(15名定員)を実施。スタッフ2名がボランティアとなりカフェの約束事項として ・人の話を聞く、遅らさない、批判しない。 ・この場所で話したことは口外しない。	みんなの広場(NPO法人ウィメンズ・ウィングスちば事務所)	気軽に自分の思いを話せる場所が地域にあることが知りたくて、孤立を防止し、悩みを気軽に話せる場所を地域に作り、一人でも多くの女性の孤立を防止する取り組みであることを評価します。 この活動を他の方に広げていっていただくに、効果的の広域を行うことを期待します。 交流の幅を広げ、多くの方に参加していただくために、月1回の開催回数・時間を拡充するよう努めてください。	42,000	コロナ禍により、人々の交流の機会が減少する中で、安んずる場や悩みを気軽に話せる場所を地域に作り、一人でも多くの女性の孤立を防止する取り組みであることを評価します。この活動を他の方に広げていっていただくに、効果的の広域を行うことを期待します。交流の幅を広げ、多くの方に参加していただくために、月1回の開催回数・時間を拡充するよう努めてください。
10	ともいきクラブ	片岡 和子	体操サークル	緑区の中でも高齢化が進んでいる地域のため、近隣住民が歩いて運動できる場所を創出する。 健康増進・介護予防のための運動 ・緑区健康課や地域ヘルパーステーション活動支援事業へ協力依頼を行い、参加者の声に合わせた運動や新しい健康情報の提供等を行っていただく機会も作っていきたい。	・千葉市いきいき体操 緑区健康課による体操3か月コースの実施予定 ・口体操 ・お茶会	東葉堂 千葉市緑区大津戸11-1	・自治会の枠を超えて、地域住民が気軽に集まれる場となり、参加者同士のつながりができる。	50,000	高齢者でも歩いて通える場所にある施設で健康増進・介護予防の活動に取り組むボランティアを評価します。 地域の高齢者のニーズに合うようにメニューを工夫することで、参加者が年々増えることを期待します。 この活動を他の団体の活動が区内に広がっていくことを期待します。 緑区健康課やヘルパーステーションとの連携を受けつつも、団体としての独立性を確保してください。
小計								1,017,000	

II 区テーマ解決支援コース

No	団体名	代表者	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額 (円)	審査委員会コメント
11	いちご食堂	野口 祥子	ちいき食堂	地域に住まう方々に温かい手作りの食事を提供すると共に、こどもが一人で安心して参加できる、幅広い世代の方々を接して学べる場を提供したい。 高齢者等には、ボランティアスタッフとして協力頂き、豊富な知識や経験を活かせる、生きがいを持って働ける場を提供する。 本活動により、開催場所である大多喜ガス株式会社ホールムBeEを地域住民同士が交流できる拠点にしたい。	開催日時 毎月第2日曜日11:00～15:00 参加受付10:45～13:00 内容 ごはんルーム(昼食の提供 50食) 子ども(小学生以下)100円 大人300円 まなびルーム(季節の工作) 子ども(小学生以下)100円 大人200円	大多喜ガスホールムBeE 千葉市緑区おゆみ野9-12-1	住民同士の交流が盛んになり、世代を超えて互方に支え合う仕組みが確立され、「住み続けたいまち」となることを期待します。	373,000	区が設定したテーマに沿った活動であり、幅広い世代の方々が交流する拠点を提供する点を評価します。世代を問わず多くの方々が楽しめる活動となり、地域のコミュニティ活動の拠点となることを期待します。他のことも食堂と連携・協力し、運営ノウハウを共有することにより、事業費の抑制を検討してください。
12	おゆみのポッチャクラブ	和田 雄太郎	ポッチャ体験会	2021年には東京パラリンピックが開催されるが、地域における現状としては、障がい者スポーツが世間に認知されておらず、興味関心を抱く人が少ないのではないかと推察される。今年度、当団体では中級障がい者スポーツ指導員の資格を取得した者を中心に地域での体験会を行ったが、その数はまだまだ不足しており、地域に根付いた活動が必要であると感じている。当事業を通じ、地域住民に対し、障がい者スポーツの1つであるポッチャの普及啓発を行い、その楽しさや素晴らしいところを知ってもらうことを目的とする。	2019年度同様、介護老人保健施設おゆみの(緑区大金沢町)の秋祭り(近隣住民の参加者約1,000人の参加者)はじめ、おゆみの中央病院(緑区おゆみ野南、対象地域住民)で定期開催している耳寄り健康教室、おゆみ野みなみ祭り、シニアリーダー体験教室(緑区内8箇所)の中でポッチャの体験会を開催する。2021年度は地域の自治会や学校などに対しても広報活動を行い、活動の幅を広げたいと考えている。尚、体験会は当団体委員のポッチャ審判員の資格を持つ者が、ポッチャの概要、公式規則の講義後に実際にポッチャを体験いただく形式で普及、啓発を行う。	介護老人保健施設おゆみの(大金沢町)、おゆみ野中央病院(おゆみ野南)おゆみ野みなみ祭り(秋の道公園)緑区シニアリーダー体験教室、緑区内の自治会、学校など	地域の子どもの中高齢者の方まで多くの人にポッチャの楽しさを知ってもらうことで、障がい者スポーツに対して興味を持ってもらい、2021年東京パラリンピックの盛り上がりにつながることを期待する。また障がい者スポーツを通して、障がい者に対するの偏見やイメージを変え、障がい者が暮らしやすい環境の1つになることを期待する。	50,000	緑区が設定したテーマの中で、誰もが気軽に参加できるスポーツであるポッチャの体験会の開催をとおして、障がい者スポーツの普及啓発活動に取り組んでいることを評価します。東京オリンピック・パラリンピック終了後も、地域におけるスポーツの機運が醸成されることを期待します。少人数での開催回数を増やすなど、Withコロナの中でも開催できる手法を検討してください。
小計							423,000		
全コース合計				交付件数	12件	交付決定額合計	1,440,000 円		